

## 卓越大学院プログラム 事後評価結果

機関名	東京大学	整理番号	1905
プログラム名称	先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム		
プログラム責任者	橋爪 隆	プログラムコーディネーター	田村 善之

### 卓越大学院プログラム委員会における評価

<p><b>〔総括評価〕</b></p> <p>A：計画どおりの取組が行われ、成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。</p>
<p><b>〔コメント〕</b></p> <p>卓越した学位プログラム、「知のプロフェッショナル」を養成する体制等の構築については、全国的に法学系研究大学院が厳しい状況に置かれる中で、補助期間内に海外の多様な機関との連携を強化・拡大し、先端ビジネスローの世界的拠点形成に向けた取組が進められていることは評価できる。企業や法律事務所等との連携により、先端分野における共催セミナーや研究会、講演会の開催にも積極的に取り組んでいる。特に、AI化時代の制度的な在り方に関するAIガバナンス研究を、学内の未来ビジョン研究センターや学外の先進的なAI企業などの連携先と推進していることは時代の変化に対応した取組として評価できる。法学を学ぶ学生の裾野拡大に向けて先端ビジネスローの入門書を刊行し、文理を問わず学部の教養課程1・2年生への授業を行う等の様々な取組を行っていることも評価できる。</p> <p>修了者の成長については、国の諮問機関の研究会の委員として活躍する者や、博士論文の書籍としての出版が決まる者が複数育つ等、先端ビジネスローの現場を担う人材を多く輩出していることは評価できる。</p> <p>キャリアパスの構築については、学部卒学生、リカレント学生、留学生といった多様な学生の交流機会の構築や連携機関からの研究会や講演会を通じて、現代のビジネスに生じる諸問題に対応するための機会を構築しており、プログラム参加学生は、現職継続を含め、大学教員や研究者、法律事務所のみならず、金融、メーカー、コンサルティング等の民間企業に就職している等、多様なキャリアパスを実現していることは評価できる。今後は、国籍や専攻分野等において、より多様な学生の確保を期待したい。</p> <p>大学院全体への波及効果及び事業の継続・発展については、大学内において国際卓越大学院(WINGS)が創設され、本プログラムで得られた知見をグッド・プラクティスとして全学に展開していることは評価できる。補助期間終了後については、法学政治学研究科附属の法・政治デザインセンターを新設し、プログラムの継続・発展のための体制を構築していることは評価できる。また、企業等連携先の積極的な開拓により、継続的に外部資金が得られる仕組みを構築していることは評価できる。今後は、学内の資金面での支援を含めた、継続・発展のための財政的基盤構築が期待される。</p>